

2016(平成 28)年度

# 事業報告



社会福祉法人 豊中きらら福社会

## 2016年度 法人全体のまとめ

**情勢**：4月には、障害者差別解消法が施行されましたが、7月には相模原市で日本中を震撼させる事件がおきました。又高齢者や障害者、乳幼児等への虐待事件も後を絶ちません。

先日、「地域包括ケアシステム強化法案」が採決されました。公的責任のもとに全ての人々の人権と尊厳が守られる社会保障とは違い、「我が事・丸ごと」地域共生社会として、一億総活躍による「自助」・「自立」を促し、すべての住民同志の支え合い助け合う「互助」を求められています。

**地域とのかかわり**：地域のイベントに実行委員として参加、授産の教室を作業所で開く、実習学生の受け入れ、こども110番の拠点になる、近くの市立こども園の評議員を引き受ける等々、各事業所によってかかわり方も違いますが、地域との相互の関係も広がってきています。

まだまだ障害者に対しての正しい理解があるとは言えませんので、地位貢献活動含め、授産製品や表現活動などを通じて街に出かけ、啓発活動を行いたいと思います。

**事業経営**：栄養士の常勤配置や啓発向上委員会設置、「作業所の歩み」の研修等、中長期経営計画に沿ってすすめ、実現してきました。念願のホームづくりや事業所の移転拡張については、ようやく具体的に進めていけるような状況になりました。引続き、改築や移転拡張が求められる事業所や新千里南町ホームの整備等々、障害者のニーズに答えるべく課題等を当事者やご家族の方々、関係者の皆さんと確認し合い、実現していきたいと思います。

**研修等**：福祉会の職員体制は、3月1日現在で常勤職員が66名（男33名、女33名）、非常勤74名（男37名、女37名）総勢140名です。事業形態が多様化し、変則勤務、長時間勤務、仕事の内容や質と量、求められる職員像等々、働き方は様々になり、職員集団が作りにくくなってきています。障害を持つ人たちにより添い支援するという原点のところで一致できるように、「作業所の設立からのあゆみ」の研修を当初からおられるご家族の方や当事者や作業所づくりをすすめて来られた方たちを囲んでおこないました。

又、カウンセリングルームビッグスマイルと契約をし、職員全員のストレスチェックを行いました。高ストレス者は9%と出ました。今は出張相談も行っています。私たちの仕事は全てが人間関係の為、メンタルヘルス対策は重要です。大きくなった職員集団の中で一人ひとりが生かされる為の職場のあり方、会議のあり方等々考え直す時期に来ているのかもしれない。

### 2016年度 情勢報告・討議事項（法人全体職員会議と研修）

4月\*各作業所の方針

5月\*障害者差別解消法の施行について

\*障害者総合支援法と介護保険制度

◇ゼロからのスタート、地域に根差した歩み

7月\*過去の震災の教訓は熊本地震に生かされたか。

\*授産収入アップについて

8月◇きょうされんが果たしてきた役割とこれから

9月\*「日本国憲法について」

\*利用者同士の会話へのアプローチの仕方

9月◇障害があっても差別のない共生社会を目指して(豊中市啓発活動委員会共催)

11月\*メンタルヘルスについて

\*大阪府医療費助成について

\*作業所でのレクリエーションについて

12月◇障害者運動：当事者家族・当事者

1月\*グループホームについて

\*高齢期を迎える利用者の課題と準備

2月○総括会議

2016(平成28)年度 社会福祉法人豊中きらら福祉会 事業実施報告書

種別 障害福祉サービス 多機能型 (生活介護14名・就労継続支援B型23名)

実施施設 名称 ワークセンターとよなか

所在地 豊中市服部西町5-18-5

実施期間 2016(平成28)年度4月1日～2017(平成29)年3月31日 計 258 日

従業者	正規	非正規	ボランティア等 (内障害者雇用)	計	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	看護職員	嘱託栄養士	調理員	事務職員	運転手	機能訓練・マツサージ	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託 税理士	合計(常勤 換算人数)		
																			1兼務	4	2
																					6.0
													1兼務			1					7.0
																					0.0
																					0.0
																					13.0
利用者	身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	区分なし	計					
					身・知	知・精	精・身														
	男	3	27	7	37	6	1			1	6	5	8	5	1	11	37				
	女	1	9	1	11	2				2	0	4	4	0	0	1	11				
	計	4	36	8	48	8	1										48				
授産活動	授産内容		利用者数(人)	職員数(人)	収入額(円)	利用者1人当たり平均工賃(見込)/月(円) ¥4,500	受注開始年月日														
	自主製品販売(陶芸等)		15	5	1,232,655		平成15年4月1日														
	委託・内職作業		25	7	2,929,558		平成18年4月1日														
	段ボール組み立て		8	3	836,852		平成13年4月1日														
	その他(銀行利息)				12																
			合計	4,999,077																	
その他イベント等活動	家族懇談会 5月																				
	日帰り旅行 7月																				
	お餅つき 12月																				
健康診断実施	7月																				
防火・防災訓練	年2回																				
研修	7月 ヤマト財団 研修																				
	5月～10月 新人研修 毎月1回																				
	11月 社会福祉事業ありかたセミナー																				
地域貢献活動	被保護者就労準備支援事業																				
	11月 3あいイベント参加																				
	店舗での夕方サロン																				

## 日課

	月	火	水	木	金
午前	作業：所外作業 (パーキング清掃)	作業：所外作業 (ふるる清掃)	作業：所外作業 (パーキング清掃) (セブンイレブン清掃)	作業：所外作業 (パーキング清掃)	作業：所外作業 (パーキング清掃)
午後	作業 (パーキング清掃)	作業 (ふるる清掃)	作業(パーキング清掃) すまいる訪問歯科	作業 (パーキング清掃)	作業 (パーキング清掃)

## 週課

9:30	利用者 通所 受入	9:30	企業内作業班集合
50	ラジオ体操 朝礼開始	45	川瀬彦へ出発
10:00	午前の作業 開始	10:00	到着して朝礼
10:50	休憩(15分)	10:10	午前の作業 開始
11:05	作業開始	11:00	休憩(10分)
12:00	昼休み(昼食)	12:00	昼休み(昼食)
13:00	午後の作業 開始	13:00	午後の作業 開始
:50	休憩(15分)	14:00	休憩(10分)
14:05	作業開始	14:50	掃除
:30	片付け・掃除	15:00	終礼
15:00	終礼開始	15:15	川瀬彦を出発
30	送迎開始	15:30	ワークに帰着

## 月課

毎月 1回	・第1火曜日：ハンドマッサージ ・訪問看護 ・調理実習 ・図書館 ・納品	・第2金曜日：特別養護老人ホームふるる2号館館内清掃
----------	--	----------------------------

## <生活>

### ・アート班

利用者同士のコミュニケーションを通して、自他ともに認めあえる集団作りを心がけました。

家庭や病院、他機関との連携を密に行い、健康状態や生活が改善されるケースが多くありました。

単身生活になられた方のケースでは、ご兄弟や親戚の方と一緒に生活を見守る体制を作り、合わせて福祉制度の説明やサービスの紹介も行いながら、共有してきました。

### ・下請け班

フロア内では4～5人のグループに分かれて、それぞれの小集団に満遍なく職員が支援に入るという形を取りました。こうする事で利用者間同士の会話も活発化し、特定の職員への依存が大幅に減少しました。着座位置を完全に固定化している訳ではないので、他の小集団に入っていつもと違うメンバーとの会話を楽しむ姿も見られ、小集団の効果はこんな所にも現れました。20年ぶりに通所を再開される方が、再び利用者間の輪の中に入れるか心配されていましたが、小集団の中に身を置く内に自然と仲間意識が芽生え、現在も安定した通所を続けています。金銭管理や通院支援など、又老後を含めた将来への不安を抱える方に対しては、相談支援機関や介護ステーションなどの他機関と連携し、利用者が安心して地域で生活していけるように支援を続けてきました。

### ・企業内作業班

今年度は8名の利用者と職員3名体制で始めました。課題である高齢化問題は今年も変わりなく、所内班から働く利用者は5名と増えましたが、年度途中で1名退所され、現在4名となっています。

週1回定期的に所内で作業をしている生活介護型の利用者2名は、工場班として誇りを持って長年取

り組んできましたが、体力の衰えもあり二人とも少しずつ工場以外の居場所を作っているところです。

体調を崩されて1ヶ月以上休まれる方がいました。今までなら長期の休みからの復帰が難しかったですが、茶話会等のイベントに行きたいと言うモチベーションが、復帰を早くするきっかけとなりました。

また一方で、グループホーム利用の方2名がインフルエンザにかかり、そのうち1名の方が肺炎となり、2週間入院となりました。食生活等の生活習慣も含めてホームとの連携も課題となっています。

金銭管理については、補佐人や後見人を利用できるようになり、グループホームとも連携をして昼食代の支払いなどの管理も後見人へ引き継いでいきました。

## <労働>

### ・アート班

〈陶芸〉昨年度に続き茶碗、皿、コップなどの器作り、フローチなどの小物、自由制作を柱とし進めてきました。秋には市から、金婚祝いの皿800枚の依頼をいただきました

〈絵画〉大阪南港ATCにある「大阪デザイン振興プラザ」で開催された「福祉現場で生まれるアート展」、兵庫県篠山市にある「白殻五粉」で開催された「ワークセンターとよなか作品展」、京都市左京区にある「アトリエパッチワーク」で開催された「井上勇個展」、池田市の自然食レストラン「ばんまい」で開催された「ばんまいでてんてこまい4」での作品発表のほか、公募展は「現代アートの世界に輝く新星発掘プロジェクト」に応募し、3名が受賞しました。作品の買い取りを希望する声も徐々に増えてきており、高額の場合の工賃との兼ね合いや、手当ての設定など、検討すべき課題があります。

<店舗アトリエ・ピース>周辺の掃除も含めた毎朝の開店準備、在庫の管理などそれぞれやりがいを持って積極的に参加している様子が見られ、毎朝の習慣となっています。委託販売先やイベント、展示などでワークを知り今年度新たに足を運んで下さった方も僅かずつですが増えてきました。

### ・下請け班

今年度もタオル内職を中心とした作業に取り組みました。作業の見通しを立てやすくする為に作業工程を分け、それぞれの作業に利用者が取り組める様工夫しました。継続して同じ作業が入る事により利用者の集中できる時間も増え、作業効率も上がりました。

その他として、紙製品の制作（ポチ袋、レターセット、一筆箋、メモ帳）に取り組みました。

### ・企業内作業班

伊丹の川瀬彦(株)で段ボール製の梱包資材の組立や製作を行いました。その他に、委託作業としてパーキング清掃や老人ホームでの清掃、地域のセブンイレブンの清掃も行いました。

## <職員集団>

今年度は送迎運転手を含む16名体制となりました。利用者の障害の多様化と高齢化にともない、支援の幅も広がっている現状があり、正規職員が金銭の管理や生活支援のために外にでる機会も多く、そのため記録や送迎など非常勤の仕事への負担が多くなってきている現状もあった1年でした。

メンタルヘルスが仕事を続けていくうえで大切ではありますが、非常勤も含めた仕事量の配分や班によってのかたよりがないように、班での聞き取りを今後も継続していきたいと思います。定着率をあげて職員が長く続けることが支援に発展性もでてきて、利用者との信頼関係にもつながっていくので班の垣根をこえた職員集団を今後も意識していきたいと思います。

11月には第三者委員ばぼろより視察があり、記録の残し方や事業所の雰囲気が大変よいとの評価をいただきました。今後も利用者の思いを形にできる事業所づくりを試行錯誤しながらすすめていきたいと思っています。

(理事会用)  
平成28年度 ワークセンターとよなか利用状況

生活介護	生介I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者
	定員	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	
	区分2													0	0.000
	区分3		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
	区分4	128	131	151	137	127	132	131	124	123	120	113	119	1,536	5.953
	区分5	83	78	91	86	85	86	86	84	78	74	96	114	1,041	4.035
	区分6	55	58	64	59	58	58	60	58	55	50	58	65	698	2.705
	延べ利用者数	266	267	306	282	270	276	277	266	256	244	267	298	3,275	12.694
	区分5・6(%)	52	51	51	51	53	52	53	53	52	51	58	60	53.10	
	利用率(%)	90.5	90.8	95.0	91.6	96.4	85.7	86.0	82.6	91.4	91.7	95.4	92.5	90.67	

就継B型		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	定員	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	
	未判定	115	117	128	110	89	90	96	95	77	71	59	69	1,116	4.326
	区分1	19	19	22	18	19	18	19	22	19	18	0	0	193	0.748
	区分2	73	68	77	76	69	69	76	52	72	73	90	66	861	3.337
	区分3	215	215	249	237	214	216	215	199	168	162	212	248	2,550	9.884
	区分4	60	57	66	62	58	56	59	81	75	69	62	75	780	3.023
	区分5	20	19	22	20	33	31	31	34	29	31	31	36	337	1.306
	区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
	延べ利用者数	502	495	564	523	482	480	496	483	440	424	454	494	5,837	22.624
利用率(%)	103.9	102.5	106.6	103.4	104.8	90.7	93.8	91.3	95.7	97.0	98.7	93.4	98.5		

生活介護	平均利用率	年間平均利用者数												合計	人
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
		12.84	13.35	12.96	12.7										
	開所日	21	21	23	22	20	23	23	23	20	19	20	23	258	日

B型	平均利用率	年間平均利用者数												合計	人
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
		23.90	23.57	24.52	23.77	24.10	20.87	21.57	21.00	22.00	22.32	22.70	21.48	22.6	
	開所日	21	21	23	22	20	23	23	23	20	19	20	23	258	日

2016年(平成28年)度 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス多機能型(生活介護20名・就労継続支援B型20名)

実施施設 名称

工房「羅針盤」

所在地

大阪府豊中市春日町三丁目1番41号

実施期間 2016年(平成28年)4月1日～2017年(平成29年)年3月31日 計 243 日

従業者	正規	非正規	ボランティア等 (内障害者雇用)	計	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	就労支援員	看護職員	目標工賃達成指導員	調理員	事務職員	運転手	機能訓練・マツサージ	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託 税理士	換算(常勤 人数)	
		1			1	1	1	6	2		1									
							9		1				3	1	1	1	1	1	1	8.5
																				0.0
							1													0.5
							15	2	1	1	0	0	3	1	1	1	1	1	1	18.5

利用者	身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	未判定	計
					身・知	知・精	精・身									
男	31	0	29	60	0	0	17	15	13	9	4	3	0	0	16	60
女	9	0	6	15	0	0	5	5	4	3	1	0	0	0	2	15
計	40	0	35	75	0	0	22	20	17	12	5	3	0	0	18	75

授産活動	授産内容	利用者数(人)	職員数(人)	収入額(円)	利用者1人当たり平均工賃/月(円)	受注開始年月日
		グラスアート事業収入	12	3	593,700	4,808円
	内職事業収入	28	6	746,827	平成10年4月1日	
	製菓販売収入	15	3	1,331,445	平成10年4月1日	
	マット・ミサンガ	10	3	179,241	平成18年4月1日	
	アロマキャンドル	10	3	126,890	平成18年4月1日	
	計	75	18	2,978,103		

その他イベント等活動	桜井谷地区社会福祉協議会地域交流会 野畑まつり・宮山町自治会盆踊り・上野いきいきフェスタへの共同参画 マックスバリュウ緑丘店地域交流バザー(年24回)
健康診断実施状況	定期健診8～10月、インフルエンザ予防接種11月
防火・防災訓練	4月、10月
研修報告	新人職員研修(法人内研修、事業所研修) 障害者運動(法人内研修 年4回) 高次脳機能障害基礎講座(実践研修) 朝日新聞厚生文化事業団障害者研修、地域包括ケアシステム学習会 障害者人権研修(権利条約、虐待防止、差別解消法)、衛生管理研修
地域貢献活動	大阪保健医療大学講義(H26.9～H27.2 年間30回)) 大阪リハビリテーション専門学校実習(1回5日間・年間3回) 豊中市社協スポーツ交流会、東京・茨城・滋賀・岐阜・岡山・国治研 各研修への協力 豊中市国際交流会館地域活動、豊中市社会福祉協議会地域福祉ネットワーク会議

## 日 課

7:00	送迎車出発	12:00	昼食 休憩
8:30	職員朝礼	13:00	午後の作業開始(1F内職・製菓2F工芸)自主製品販売活動
9:30	自力通所者 登所開始 送迎車到着 検温・血圧測定 水分補給	14:00	小休憩・水分補給
10:00	ラジオ体操、朝の会	14:50	午後の作業終了 片付け 掃除
10:10	午前の作業開始(1F内職・製菓2F工芸)自主製品販売活動	15:00	終わりの会 水分補給
11:00	小休憩・水分補給	15:30	通所者退所 送迎開始
11:50	午前の作業終了 昼食準備	16:15	職員打ち合わせ 記録記入
		17:30	送迎業務終了 車両点検・清掃

## 週 課

	午 前	午 後
月曜日	作業・営業活動 マッサージ	作業・営業活動
火曜日	作業・営業活動	作業・営業活動
	第2・第4週目はイオン(緑ヶ丘店)で販売 看護師による健康チェック(毎月第2・第4週目)	第2・第4週目はイオン(緑ヶ丘店で販売)
水曜日	作業・営業活動 第2週目は千里センターコラボで販売	作業・営業活動
木曜日	作業・営業活動	作業・営業活動
		第3週目は市立豊中病院で販売
金曜日	作業・営業活動:第3週目はコープ(桜塚店)、第4週目国際交流センター	作業・営業活動

## 年 間 行 事

4月	・花見(千里中央公園)	9月	・たこ焼きパーティー
5月	・社会見学(ニフレル) ・誕生日会(ゲスト:ギター弾き語り)	10月	・インフルエンザ予防接種(10~12月)
6月	・中途部会交流会(豊中ひまわり)	11月	・社会見学(京都鉄道博物館)
7月	・野球交流会	12月	・野球交流会・もちつき大会 ・誕生日会(ピンゴ大会)
8月	・健康診断(8~10月)	2月	・たこ焼きパーティー

## <生 活>

### 1F(生活介護)

1階では、身体的に重度の方、高齢の方、高次脳機能障害の方が利用されています。身体面や精神面の状態悪化により障害支援区分が変更になった方が数名おられました。

主な作業内容としては、軽作業、製菓、調理を中心に取り組んでいます。今年度は課題であった手狭なフロア内の環境整備をおこないました。作業棚を購入し内職の資材を整理したことや製菓室内を2テーブル使用できるようにしたことで、動線の確保とより作業しやすいスペースを作ることができました。休憩室については全体的に疲労や不調を訴える方が増えてきたため、ベッドサイドに手すりを導入することで安全な移乗と介助負担軽減につながっています。

新規利用者の事例では、低血糖を頻繁に起こされ、細かな状態観察や緊急時対応が必要な方がいます。また高次脳機能障害による感情コントロールが困難な方で男性職員に対する暴言暴行が続いたため、場面転換や女性職員による対応を図り、現在は落ち着いて過ごすことができるようになっています。



日々の利用者の変化やニーズを職員間で共有し意見を出し合うことで、より良い支援を実践することにつながりました。今後も継続して本人に合った支援ができるようにしていきます。

## 2F（就労継続支援B型）

2階では高次脳機能障害・精神障害・知的障害・内部障害の方が通所されています。作業としてはグラスアート・アロマキャンドル・布マット・ミサンガの自主製品とお買い上げ用紙袋を製作しています。

利用者の意向を伺いながらも個々の障害に応じた自助具を作るなど工夫をし、製品づくりから販売まで分担して取り組めるよう作業提供をしています。昨年度より利用者増に伴い小作業室を活用して少人数で落ち着いた環境の下での作業が来ています。席の配置や作業内容などを座席ボードで各々が確認され、フロア内にて大勢が移動する場面もあり、引き続き所内での移動時の見守りを継続しています。今後も利用者の心身状態や障害特性に合わせた支援をおこない、利用者にとって安心して作業に取り組める環境を提供していきます。

利用者の年齢も20代から70代まで幅広い利用者が居られ、生活・身体面や就労に向けてなど支援内容も多岐にわたります。今年度は他の事業所に移行された方や復職をされた方が居られ、今後もご本人の意向を尊重しご家族や関係機関とも連携をしながら支援をおこなっていきます。

## <健康管理>

今年も定期健康診断をおこなっています。8月から10月にかけて44名の方が豊中診療所にて受診しました。検査の結果、要精査の方はいませんでした。要指導や、要治療の結果が出ている方に対しては主治医に相談するように促しをしています。診療所にて受診されなかった方は、主治医で受診された結果を提出いただいています。

インフルエンザの予防接種は10月から12月にかけて希望者のみおこなっています。感染予防のため手洗いうがいを促し、こまめな換気や消毒をおこなっています。

てんかん発作のある方や食事中にむせやすい方、低血糖を頻繁に起こす方が利用されている中で、作業中や休憩中、食事中を通して、見守りの徹底と対応の仕方を職員間で確認しています。今後も利用者の方々の体調の変化を見逃さず、安心して日常生活を送れるよう健康面のサポートをしていきます。

## <職員集団>

今年度は正規職員1名が第2工房「羅針盤」へ異動、1名が退職し、定年や大学実習などの関係で非常勤職員4名が退職しました。欠員については応募中ですがまだ非常勤2名しか補充できていません。また、らしんばんの家との関係では昨年度3名の職員が兼務していましたが、今年度はホームの業務に専念してもらうため、兼務職員を1名にしました。

今年度の特徴として、報・連・相の徹底と学習の向上を図るための取り組みが挙げられます。

まず、情報の共有では伝達ルートを整理し一本化しました。そのことで、管理者が不在であっても外部との連絡が滞ることはなく、また連絡ミスも減少しました。引き続き、職員間の連携を強化すべく、臨機応変な対応ができるよう取り組んでいきます。

また、終礼の新たな取り組みとして、高次脳機能障害の専門書の読み合わせを実施しました。私たちが日々おこなっている実践に照らし合わせ、反省や共感、感想などを話し合いながら専門性を高めると同時に、ご家族や支援者の心理を学ぶ上でも有意義な取り組みになっていますので、今後とも継続しておこなっていきます。

尚、利用者の高齢化に伴い、医療的な見守りや相談が増える中、今年度新たに週2日勤務の看護師を雇用しました。将来的には常勤体制の整備をめざし支援の充実に取り組んでいきます。

平成28年度 工房「羅針盤」利用状況

生活介護	生介I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者
	定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20		
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
	区分3	11	9	10	13	10	1	2	4	5	6	5	4	80	0.329
	区分4	58	56	62	61	66	58	60	50	47	50	51	35	654	2.691
	区分5	172	158	160	153	170	162	191	185	178	184	184	234	2,131	8.770
	区分6	164	159	191	169	183	170	158	154	154	151	171	193	2,017	8.300
	合計	405	382	423	396	429	391	411	393	384	391	411	466	4,882	20.091
	区分5・6(%)	83.0	83.0	83.0	81.3	82.3	84.9	84.9	86.3	86.5	85.7	86.4	91.6	84.9	
利用率(%)	101.3	100.5	96.1	99.0	97.5	97.8	102.8	98.3	101.1	102.9	102.8	105.9	100.5		

就継B型	就B I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者
	定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20		
	未判定	225	213	253	238	290	254	237	255	232	244	248	278	2,967	12.210
	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
	区分2	46	44	40	38	53	52	60	40	31	39	40	27	510	2.099
	区分3	90	84	88	73	78	67	70	57	54	37	42	47	787	3.239
	区分4	26	28	30	25	23	22	24	23	23	37	44	63	368	1.514
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	4	2	12	0.049
	区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
	合計	387	369	411	374	444	395	391	378	342	358	378	417	4,644	19.111
利用率(%)	96.8	97.1	93.4	93.5	100.9	98.8	97.8	94.5	90.0	94.2	94.5	94.8	95.5		

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日	20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	20	22	243

2016(平成28)年度 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

障害福祉サービス(生活介護・定員18名)

実施施設

名称

工房モコ

所在地

〒560-0032 豊中市蛍池東町4-5-4 木田ハイツ1F

実施期間

2016(平成28)年度4月1日～2017(平成29)年3月31日

計

241

日

従業者	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	就労支援員	看護職員	嘱託栄養士	調理員	事務職員	運転手	機能訓練・マッサー	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託 税理士	合計(常勤 換算人数)		
	正規	1	1	6												7	
	非正規			1	1				1	1	1					1.8	
	ボランティア等 (内障害者雇用)			1													
	計	1	1	7	1				1	1	1					8.8	
利用者	身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	区分なし	計	
					身・知	知・精	精・身										
	男		18	18	12					8	7	3					18
	女		5	5	4					3	2						5
計		23	23	16				11	9	3					23		
授産活動の報告	授産内容		利用者数(人)	職員数(人)	収入額(円)	利用者1人当たり平均工賃/月(円)	受注開始年月日										
	木工製品製作・販売		23	7	326,791	¥3,000	1996年4月										
	リサイクル事業・その他				224,310		2009年4月										
	製菓製作・販売				42,550		2012年4月										
	内職事業				240,198		2014年9月										
			計	833,849													
その他イベント等活動	お誕生日会(月1回)、調理実習(月1回)、スポーツの日(月1回)																
	お花見、遠足(京都鉄道博物館)																
	入所式、年末お楽しみ会、家族懇談会																
健康診断実施	6月																
防火・防災訓練	9月・3月																
研修	豊中きらら福祉会新人職員研修・豊中きらら福祉会全体職員研修																
	きょうされん関係職員研修・障連協関係職員研修																
	その他障害福祉サービス関係研修																
地域貢献活動	地域授産販売活動																
	地域まつり(実行委員会、出店)																
	(地域交流)刀根山小学校・・・製菓作り																
	学校体験学習・見学(学生・保護者会・地域交流)																

## <日課>

8:15	送迎車出発(リフト)	11:50	昼食
8:25	送迎車出発(キャラバン)	13:00	午後の作業開始
8:30	送迎車出発(キャラバンリフト・軽自動車)	14:25	午後の作業終了・水分補給
9:30	軽自動車)	14:45	終わりの会(当番制)
9:40	自力利用者通所	15:00	利用者退所・送迎開始(リフト・軽自動車)
10:00	送迎車到着		
10:15	水分補給	15:10	送迎開始(キャラバン)
10:20	朝の会(当番制)	15:15	送迎開始(キャラバンリフト)
10:25	ストレッチ体操	15:20	清掃開始
11:40	午前の作業開始	16:30	送迎終了
	午前の作業終了・片付け・机拭き		

## <週課>

	午 前	午 後
月曜日	木工作业・内職	木工作业・内職・第3週目:よど販売
火曜日	木工作业・内職	木工作业・内職・機能訓練
水曜日	木工作业	木工作业・第1週目:スポーツの日 第2週目:調理実習 第3週目:お誕生日会・お楽しみ会
木曜日	木工作业・内職	木工作业・内職・機能訓練
金曜日	木工作业・内職	木工作业・内職

商品納品:アートショップグリーンるうぶ、ハッピー&スマイル、とよのピア in 池田、ふれ愛たかつき  
販売先:なかまの店、老人デイサービスセンター 製菓事業:月1~3回 バザー引き取り:不定期  
看護師巡回:月1回(火曜日) 体重測定:月1回

## <年間行事>

4月	・入所式・お花見(伊丹スカイパーク)・お誕生日会	10月	・なかまの交流会・お誕生日会 ・刀根山地域子供教室
5月	・お楽しみ会(カラオケ大会)	11月	・お誕生日会 ・インフルエンザ予防接種
6月	・健康診断・お誕生日会	12月	・年末お楽しみ会・年末大掃除・ヒューマンウェーブ・お誕生日会
7月	・お誕生日会	1月	・初詣(原田神社)・書き初め・お誕生日会
8月	・お誕生日会	2月	・節分・お誕生日会・スライドショー
9月	・遠足(京都鉄道博物館)・防災訓練・スライドショー・お楽しみ会	3月	・避難訓練・親子交流会

## <生活>

### ・集団

新たに男女各1名ずつが入所され全体で23名となり、支援学校在学時は職員3人での食事介助がおこなわれていた女性利用者が入所され、はじめは食事摂取が難しく別室にて特定の職員1人での対応から始め、徐々に信頼関係を築き、その後他の職員とも関係を深めて集団の場で食事をとることができるようになりました。

### ・健康管理

今年度は14名の利用者が受診し、要治療8名、要指導5名、要精査1名でした。また希望者のみ大腸がん・前立腺がん検査を受けられました。要精査の方に関しては、すぐに詳しい心臓のエコー検査を受けていただき、経過観察をしていくことになりました。

長期間欠席をされた利用者が数名おられたため、体調の変化がみられた時には、職員間で情報共有し、ご家族と密に連絡を取り合いました。来年度は利用者が安心して過ごせるように職員の専門知識を高めて一人ひとりの健康状態を把握していきたいと思っております。また通院等のサポートが必要な利用者が年々増えてきています。ご家族や他機関と連携を取り合いながら支援をしていきたいと思っております。

## <労働>

### ・木工製造販売事業

商品作りに利用者の意見を取り入れ、季節に合ったデザインのキーホルダー・マグネット・置きものなどを中心に生産しました。手にとりやすいようなパンフレット（小冊子）を作成し、各イベント・販売先で配布しました。また、ラベルのデザインも変更して宣伝強化にも努めました。昨年度に引き続き、より目に止まりやすく手に取ってもらえるようパッケージデザインを季節によって変更するなどして、売上向上を目指しました。課題であった販売先については、10月より高槻市にある「ふれ愛たかつき」への納品も開始しました。利用者の取り組みでは、それぞれが興味を持ったことや集中出来る作業を提供し、お互いが協力することでひとつの商品を完成させました。利用者からの働きかけで新たにできるようになった作業もありました。店舗の飾り付けを季節毎に変更し、ディスプレイの工夫もおこない来客数の増加にも努めましたが、イベントなどで一度に商品が売れてしまった際には、店頭商品がなくなってしまうことがありました。

### ・製菓販売事業

10月に地域の刀根山小学校で開催されている刀根山地域子供教室に呼んで頂く機会があり、利用者が普段おこなっている工程を生徒の皆さんに説明をして、共同でカップケーキを作りました。

### ・内職事業

折り込みとポストिंगの委託を受けて取り組みました。ポストिंगは、季節を問わず全員が携われる作業なので来年度も引き続き取り組んでいきます。

## <実践記録>

各種記録が支援において重要であることを職員間で再確認して記録に努めてきました。ひやりハット報告書、事故報告書、相談・苦情相談はその都度作成し、職員終礼で共有して各報告書の事例を1件1件深く分析し、類似ケースも検討しました。その結果、大きな事故には至りませんでした。繰り返し起きている事例と同じひやりハットが発生しており、今後も場所・場面・原因をより検討し、予見性を大切にして事故や苦情が起こらないように努めていきます。

日誌・利用者出勤簿・個々の利用者ケースの記録は、重要な記録ということを個々で意識し、記入漏れがないように今後も徹底していきます。

## <職員集団>

一日の取り組み対応の検証や、翌日の予定・体制の確認等、非常勤職員も含めて毎日振り返りをおこない、意見を出し合って改善を図ってきました。経験年数を問わず、個々の職員が一日の活動予定や時間・各利用者の支援内容・職員の動きなどを十分に把握し、基本となる発達保障を理解して連携がとれるように努めなければなりません。

日々の職員としての姿勢、留意事項を確認するセルフチェックシートを使用して小グループで意見交換する機会や、テーマを決めて全体で論議する場もつくり、個々の思いや考え、悩みを話して日々の実践にどうつなげるのかを話し合いました。その中では、経験年数に関係なくそれぞれが持つ視点で気づいたことを伝え合って、お互いのスキルアップにつなげていくことに取り組んできました。

来年度も、利用者の生活全般にわたる総合的な支援をすすめていきます。日々の実践において、発達保障理論を軸により豊かな支援が行えるように専門性を高め、積極的に学習をおこなっていきます。

利用者の様子や変化などの情報が見逃されることなく迅速に全職員に伝わるように報告・連絡・相談を徹底し、適切な対応ができるようにします。また、それらの日々の積み重ね、実績などを全体会議、終礼などあらゆる機会を通じて、職員間での連携を密にします。

平成 28年度 工房モコ利用状況

生活介護	生介 I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者	
	定員	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18		
	区分2													0	0.000	
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000	
	区分4	52	43	49	49	46	43	43	50	30	28	37	35	505	2.095	
	区分5	138	123	147	130	129	132	135	133	145	140	153	171	1,676	6.954	
	区分6	196	184	219	194	187	192	197	197	188	172	186	218	2,330	9.668	
	合計	386	350	415	373	362	367	375	380	363	340	376	424	4,511	18.718	
	区分5・6(%)	86.5	87.7	88.2	86.9	87.3	88.3	88.5	86.8	91.7	91.8	90.2	91.7	88.8		
	利用率(%)	107.2	102.3	104.8	103.6	100.6	101.9	104.2	105.6	106.1	99.4	104.4	107.1			

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日	20	19	22	20	20	20	20	20	19	19	20	22	241

2016(平成28)年度 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス【生活介護型(定員33人)、就労継続支援B型(定員12人)】

実施施設 名称 きらら作業所

所在地 〒560-0081 豊中市新千里北町2-19-1

実施期間 2016(平成28)年度4月1日～2017(平成29)年3月31日 計 248 日

従業者	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	就労支援員	看護職員	栄養士	調理員	事務職員	運転手	機能訓練・マッサージ	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託 税理士	合計(常勤 換算人数)	
	正規	1	1(兼)	18	1		1(兼)	1(兼)	1(兼)							18.4
	非正規			3		1				2	1	1				2.6
	ボランティア等 (内障害者雇用)															0
	計	1	1(兼)	21	1	1	1(兼)	1(兼)	1(兼)	2	1	1	0	0	0	21.0

利用者	身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	未判定	計	
					身・知	知・精	精・身										
	男		33		33	17	1	1	17	8	4	3	0			1	33
	女	2	19	2	23	5	3	3	10	3	3	4	1			2	23
	計	2	52	2	56	22	4	4	27	11	7	7	1	0	3	56	

授産活動報告	授産内容	利用者数(人)	職員数(人)	売上額(円)	利用者1人当たり換算平均工賃/月(円)	受注開始年月日
	配食サービス事業	11	5	6,184,549	15,681	平成16年4月1日
	製菓製造販売事業	16	7	942,580	6,000	平成17年7月1日
	内職事業	8	4	47,469	500	平成19年12月1日
	リサイクル事業収入	13	4	122,525	800	平成10年4月1日
	自主製品製造販売事業収入	36	12	88,920	200	平成16年4月1日
	その他事業収入	25	10	438,906	1,500	平成16年4月1日
			計	7,824,949		

その他イベント等活動	お誕生会、調理実習、エアロビクス、マイクロバスドライブ(年4回)、家族交流会 遠足、素のままフェスタ、虹色コンサート、ふらっとコンサート、障害者登山 北丘祭り、北丘小交流(対面式、さくらんぼ狩、七夕、体験実習)
健康診断など	健康診断(6月・2月)、インフルエンザ予防接種(11月)
防火・防災訓練	12月
参加研修内容	きょうされん全国大会、新人研修、介護技術研修 法人の歴史、きょうされんの歴史、障害者ご家族・当事者からの講習 自閉症講座、発達障害研修、就労支援研修 食中毒・感染症・栄養研修
地域貢献活動	新千里北町自治協議会(評議員)、新千里北町夏祭り(実行委員)、地域まつり出店 地域授産販売活動、中学生・専門学生・大学生実習受入 大阪障害者センター 人材育成検討会、豊中市内施設長会(施設間留学会) 豊中支援学校日中活動事業所 相談・情報会、支援学校実習受入

1階 利用者//男性7名、女性11名 合計18名 支援者//男性2名 女性5名 合計7名

(日課) 9:45 利用者登所 11:45 昼食  
 10:30 朝礼・ラジオ体操 13:30 午後の取り組み  
 10:45 作業開始 14:50 終礼  
 11:30 片付け・食堂準備 15:20 送迎開始

(週課)

	月	火	水	木	金
午前	パン・製菓・畑・物品整理				
午後	散歩・ドライブ・製菓・物品整理・マッサージ・リラックス・エアロビ・レクリエーション 訪問歯科(スマイル)				

2階 利用者//男性24名、女性7名 合計31名 支援者//男性4名、女性6名 合計10名

(日課) 9:30~10:30 利用者通所 12:00 昼食  
 10:30 朝礼・ラジオ体操 13:30 午後の取り組み  
 10:45 作業開始 14:30 休憩  
 11:15 休憩 15:00 終礼  
 11:30 作業開始 15:20 送迎開始  
 11:50 片付け・掃除

(週課)

	月	火	水	木	金
午前	弁当配達、紙すき、クッキー、植木鉢、ばど折込み・配布、内職				
午後	弁当回収、自主製品、厨房、内職、散歩、ドライブ、レクリエーション				
	廃品回収		廃品回収	廃品回収	廃品回収

厨房 利用者//男性2名、女性5名 支援者//男性1名、女性2名(2017年2月現在)

《日課》 8:30 作業開始(調理、盛り付けなど) 13:00 給食・弁当片付け、仕込み  
 10:40 配食弁当出荷、配達 14:00 休憩(10分)  
 11:00 給食準備、配食室片付け、配膳 14:10 弁当片付け、仕込み、掃除  
 12:00 昼休み 15:30 終業

《週課》 買い物(木 or 金)調味料などの買出し 弁当箱回収(金曜日や連休前)モコ・本部



## 年間行事 その他：誕生会・エアロビクス毎月開催

4月	入所式(1日)	10月	なかまの交流会(4日),遠足 2階班,舞洲障害者スポーツセンター(7日),1階班戶外活動(29日),遠足 1階班・厨房班ニフレル(21日),コラボ祭り(21日) 2階班戶外活動(26日)
5月	虹色コンサート(8日),北丘小3年生さくらんぼ狩り(12日),北丘小1年生対面式(17日)	11月	厨房班 戶外活動 関西国際空港(3日),マイクロドライブ(18日),障害者登山(20日),インフルエンザ予防接種(9日,24日),1階班戶外活動(25日、30日)
6月	家族交流会(10日),ふらっとコンサート(19日),北丘小2年生七夕交流会(30日)	12月	避難訓練(2日)、北丘小4年生作業体験(13日),北丘フェスティバル(20日),2階班戶外活動(22日),厨房班大掃除 戶外活動(23日)、年末お楽しみ会(28日)
7月	2階班戶外活動(7日),素のままフェスタ(23日),前期健康診断	1月	初詣
8月	北町みんなで楽しまナイト(6日)マイクロドライブ(19日)	2月	豆まき(3日)、マイクロドライブ(15日),後期健康診断
9月	1階班戶外活動(29日)		

### <生活>

**1階：**今年度は4月に1名(女性1名)新しい利用者が増え、18名の班となりました。活気があり、利用者間でコミュニケーションをとり楽しんでいる姿も多くみられます。メンバーや取り組み内容に応じて活動環境に配慮しました。作業により作業場所が異なることや、トイレ介助、マンツーマン対応によって職員同士の連携が取りにくいいため、声を掛け合ってお互いが何をしているのか、全体の状況の把握や情報の共有に努めました。

**2階：**昨年の2月より男性利用者1名が、体調を崩され長期入院中です。利用者同士で物事を考え、助け合う姿もみられるようになってきました。またご家族の高齢化が進んでいる現状を踏まえ、日頃からコミュニケーションを図り、情報を得るように努めました。グループホームに入所している利用者、ロングショートステイを利用されている方がおり、ショートステイを利用する方も多いため、各関係機関との報連相をしっかりと行いました。

**厨房：**現在、7名が所属しています。今年度は夏の暑さ対策として、空調の調整やサーキュレーターの購入を行いました。また効率よく動けるように調理器具の配置換えをするなどの環境整備を行いました。グループホーム利用者に関しては、昨年度と同様、電話やメールで情報共有を行い、必要に応じてケース会議をし、他機関と連携して支援しました。

### <労働>

**1階：**畑班は、夏にゴーヤ、冬にはチューリップを植えました。マシュマロコーンは、今まで出していなかったイベントや祭りなどで一度に販売する個数も増やし、売り上げ増となりました。バザー班は、今年度から服をたたみやすくする為にダンボールを使った自助具を作り、利用者が取り組みやすいように工夫しました。ラスク班では、作業道具の写真が入った準備表を作り、利用者が主体的に行えるよう

にしました。作業をする喜びややりがいを持ってもらえるよう作業工程など、工夫・改良していきます。

**2 階：**廃品回収は週 3 回から、週 4 回に増やし、少ない量から参加できる日を設け、回数を増やしたことにより、収益も上がりました。また、利用者同士で情報を交換し、引き継ぎする場面もみられやりがいをもって取り組んでいる人もいます。配食は昨年 2 月から第 2 工房「羅針盤」への配食がなくなり、配達量が減少しました。そうめん及びそば・うどん販売は、今年度も利用者が描いた絵を使ってチラシを作り、作業所内で販売し多くの御注文を頂きました。内職は 10 月からおみくじ折りを始めました。自助具を活用する事で、最後まで作業が出来なかった方が集中して毎日取り組めるようになりました。紙すきは前年度に作業工程を見直し、作業を分担しました。7 月に新商品メッセージカードを発売し、名刺、ハガキの大量注文もあり、売上は今年の 4 倍になり過去最高となりました。千里中央にあるコラボカフェの注文が増えてきています。コラボ祭りに参加する機会を頂きました。このような、つながりを今後も大切にしていきます。

**厨房：**今年度は、昨年度末に配食数 115 食が 75 食に減ってから大きな変動はなく、給食数を合わせて約 145 食の昼食作りとなりました。厨房内の体制も大きな変化がなく、少し余裕ができた配食数が 100 食を超えると時間に間に合わせるためにどうしても職員が中心で動かしてしまっていた作業も、利用者メインで取り組むことが出来ました。利用者にとっては急がされることなく自分のペースでできる機会が増えたこともあり、積極的に取り組む姿もみられました。しかし余裕ができると融通がきく場面も増え、それが場合によっては緊張感のない取り組みになってしまうこともあります。今後は、それぞれがよりやりがいを持ち、協力して取り組めるよう、職員が「働く」ということをしっかりと意識して支援していきます。今年度の工賃は、今までの蓄えがあったことで保障することができましたが売り上げは大きく減っています。冷凍食品の仕入れ先を変えるなどしましたが、原価を抑えるのにも限度があります。余裕ができた中で何か新しいことを考えていかなければなりません。引き続き大きな検討課題ですが、柔軟さを持って前向きに取り組んでいきたいです。

## ＜職員集団＞

1 年を総括し、どのような反省点があったか等を振り返る事は、自己を分析するととても良い材料となります。利用者を支援する前に、自分自身を知り、向き合う事が大切だと考えます。自己を分析し、働き続けられる心身の土台を作り、長所や短所を把握する。長所をさらに活かせるようにする、短所の改善策を図る等、個々の工夫が必要です。そのような自己管理や自己啓発が無ければ、利用者（他者）の支援や支援計画を作成する等の資格は無いと考えます。

今年度は退職者が多く出ました（非常勤含め 6 名）。退職の原因や理由を分析すると、心身の体調管理及び職員間のコミュニケーション不足が挙げられます。これは、今後働き続ける私達にとって教訓化しなければならない事です。上記二点をプラスに作用する事が出来れば、長く働き続けられる事や働きやすい職場づくりに繋がると思われます。

職員会議においては、特に利用者についての話し合いに多くの時間を費やしてきました。この仕事はコミュニケーション労働です。勿論、コミュニケーションは言葉だけではありません。しかし、日常における利用者への声かけ、会議での議論等、様々な場面でその力が求められます。言動にはその人の人生の重みが込められています。その言動の基となる考え方や価値観、そこから発せられる言動の重さを増す為には、日々の積み重ねと自己啓発が必要と考えます。

平成28年度 きらら作業所 利用状況

生活介護	生介I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者
	定員	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33		
	区分2													0	0.000
	区分3				7	25	26	25	29	24	19	19	22	196	0.794
	区分4	131	94	128	112	111	106	106	96	71	68	74	84	1,181	4.781
	区分5	193	183	201	194	178	174	179	175	164	170	173	195	2,179	8.822
	区分6	400	400	469	417	441	438	434	458	454	445	452	508	5,316	21.522
	合計	724	677	798	730	755	744	744	758	713	702	718	809	8,872	35.919
	区分5・6(%)	81.9	86.1	84.0	83.7	82.0	82.3	82.4	83.5	86.7	87.6	87.0	86.9	84.5	
	利用率(%)	109.7	102.6	105.1	105.3	108.9	112.7	112.7	104.4	113.7	112.0	108.8	111.4	108.8	

就継B型	就B I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者
	定員	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12		
	未判定	62	54	60	58	48	47	46	45	38	40	46	49	593	2.401
	区分1													0	0.000
	区分2	52	43	58	56	44	15	15	17	16	2	5	10	333	1.348
	区分3	101	81	103	90	71	88	89	89	87	80	83	92	1,054	4.267
	区分4	22	23	34	27	35	37	37	32	31	31	27	28	364	1.474
	区分5													0	
	区分6													0	
	合計	237	201	255	231	198	187	187	183	172	153	161	179	2,344	9.490
利用率(%)	98.8	83.8	92.4	91.7	78.6	77.9	77.9	69.3	71.7	67.1	67.1	67.8	78.8		

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日(生介)	20	20	23	21	21	20	20	22	19	19	20	22	247
開所日(就B)	20	20	23	21	21	20	20	22	20	19	20	22	248

2016(平成28)年度 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス多機能型(生活介護18名・就労継続支援B型18名)

実施施設 名称 第2工房「羅針盤」

所在地 大阪府豊中市原田元町2丁目25番21号

実施期間 2016(平成28)年度4月1日～2016(平成29)年3月31日 計 243 日

従業者	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	就労支援員	看護職員	目標工賃達成指導員	調理員	作業補助	運転手	機能訓練・マツサージ	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託 税理士	合計(常勤) 換算人数	
	正規	1	1	6	1	1										9
	非正規			11		2			4	1	1	1	1	1	8.8	
	ボランティア等							3							3	
	(内障害者雇用)			1											0.4	
計	1	1	18	1	2	1		3	4	1	1	1	1	1	18.2	

利用者	身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	区分なし	計	
					身・知	知・精	精・身										
	男	51	5	16	72	1	0		14	8	13	13	8	3	1	15	61
	女	16	0	5	21	0	1		3	1	3	1	1	3	0	4	13
	計	67	5	21	93	1	1		17	9	16	14	9	6	1	19	74

授産活動の報告	授産内容	利用者数(人)	職員数(人)	収入額(円)	利用者1人当り 平均工賃/月 (円)全日通所者 平均	受注開始年月日
	木工(日用雑貨・玩具など)	20	5	351096	5722	平成22年7月
	内職(箱組立・タオル値付など)	20	5	850541		平成22年7月
	装飾品(ヘアアクセサリー)	4	2	95995		平成24年4月
	製菓(焼きドーナツ)	10	3	618714		平成22年7月
	手芸(布ぞうり・シュシュ・ヘアゴム・縫製)	10	3	660124		平成22年7月
	紙すき(ポチ袋・一筆箋)	10	1	84116		平成27年10月

その他イベント等活動	原田校区福祉委員会 交流会
	豊南小学校 盆踊り
	大阪音楽大学 文化祭
健康診断実施	6月～8月
防火・防災訓練	4月・10月
研修報告	新人職員研修
	高次脳機能障害基礎講座
	衛生管理(感染症・食中毒予防)
	人権研修(障害分野)
地域貢献活動	福祉体験学習(豊中市立第三中学校・梅花女子高等学校)
	赤い羽根共同募金(阪急曽根駅前街頭募金)
	豊中市社会福祉協議会 高次脳機能障害家族交流会
	大阪保健医療大学実習

## 日 課

8:00	送迎車出発 (1台)	13:00	午後の作業開始(1F 下請け作業・手芸 2F 木工・製菓・下請け作業・ヘアアクセサリー 3F 紙漉き・下請け作業)
8:10	職員朝礼		
9:30	送迎車到着(自力通所者含む)検温・血圧測定		
10:00	ラジオ体操	13:30:	自主製品販売活動(こども園・小学校・中学校・福祉施設など)
10:05	朝の会	14:00	休憩・水分補給
10:10	午前の作業開始(1F 下請け作業・手芸 2F 木工・製菓・下請け作業・ヘアアクセサリー 3F 紙漉き・下請け作業)	14:50	午後の作業終了
11:00	休憩・水分補給	15:00	終わりの会
11:50	午前の作業終了 昼食準備	15:30	通所者退所 送迎開始
12:00	昼食・休憩(トランプや将棋などして過ごされる)	15:45	清掃 2F 職員打合わせ
		16:30:	送迎終了 車両点検・清掃
		17:00	1F 職員打ち合わせ

## 週 課

	午 前	午 後
月曜日	作業・営業活動	作業・営業活動 看護師：健康チェック・胃ろう対応
火曜日	作業・営業活動・マッサージ	作業・営業活動
水曜日	作業・営業活動	作業・営業活動 看護師：健康チェック・胃ろう対応
木曜日	作業・営業活動	作業・営業活動
	第1・3・5週目ボランティア参加：大阪保健医療大学清水先生、第3週目はダイエーで販売	
金曜日	作業・営業活動、マッサージ	作業・営業活動 看護師：健康チェック・胃ろう対応
	第2週目は国際交流センターで販売	第3週目はコープ桜塚で販売

## 年 間 行 事

4月	・花見(緑地公園)・布ぞうり教室・消防点検、	10月	・大阪保健医療大学実習 ・ダイエー曾根店(贈呈式)
5月	・社会見学(明治製菓5~6月)・大阪保健医療大学実習	11月	・大阪保健医療大学実習・誕生日会ゲスト：ミュージシャン・木工教室(原田こども園)
6月	・大阪保健医療大学実習・中途障害者交流会・誕生日会ゲスト：大阪大学落語サークル	12月	・大阪保健医療大学実習・もちつき大会・誕生日会ゲスト：プロレスラー・野球交流会・木工教室(原田こども園)・体験実習(梅花高等学校1年5名)
7月	・大阪保健医療大学実習・野球交流会・木工教室(原田こども園)	1月	・初詣(原田神社)・大阪保健医療大学実習
8月	・豊南カーニバル・健康診断(8~9月)	2月	・大阪保健医療大学実習・誕生日会ゲスト：原田こども園
9月	・梅花高等学校文化祭 ・木工教室(原田こども園)		

その他 毎月：誕生日会

## <生活>

### 生活介護（1階）

利用者の中には、医療面などの特別なケアが必要な方もおられ、休憩室を使用し看護師やマッサージ師などにより処置をおこないました。食事に関し普通食では嚥下や咀嚼が困難な方のため、毎日平均5食の刻み食やトロミ食、お粥、容器を変えての提供などの工夫をしてきました

30代～40代の方が利用されるようになり、関係性にも変化のあった一年でした。一方では、年齢を重ねることで認知症や難病の進行があり、ADL、IADLの低下がみられる方もいらっしゃいました。

### 就労継続支援B型（2・3階）

製菓・木工・ハンブアクセサリー・紙すき・下請け作業をおこないました。利用者の高齢化による体力低下や病状の進行、認知機能の低下、利用者増加に伴う対人関係の複雑化、通所外の生活面での支援や就労支援など課題は多岐にわたり、要望も多様化してきています。

この間、2名の方が障害者雇用で就職しました。1名の方は、当施設の事務の仕事を、もう一人の方は、食品の加工会社に就労されました。ハローワーク、就労支援センターを交え、定期的に面談をおこなうなど職場定着に向けての支援をおこないました。その他にも就労を目指されている方は多く、他機関と連携しながら就労支援を進めています。

## <健康管理>

健康に関する情報をお伝えする「健康だより」を発行しています。利用者の健康への意識を高めるとともに、健康状態を改善することが目的です。利用者にとって取り組みやすい健康管理の仕方をできるだけ多く掲載し、利用者の健康活動を今後も促進していきたいと考えています。

ノロウイルス対策として、感染を未然に防ぐため排泄介助や汚物処理のときに使い捨てエプロンを使用していたことや嘔吐物の処理の仕方について所内で研修を実施し、感染を未然に防ぐ対応をしています。感染症だけでなく熱中症や流行のウイルスなどへの対策も幅広く実施しました。

## <労働>

### 自主製品

製菓…受注先が2件増加したことにより、売上アップにつながりました。その一方で、注文の時期が重なってしまったこともあり、製造の負担が大きくなる点は課題となりました。利用者が無理なく製造に臨める体制づくりが求められます。

木工…新たに豊中市小曾根公民分館の方からうさぎの絵馬の作成や紙漉き交流センターからの漉き枠の別注をいただきました。新しく木材がいただける木材店をみつけ、商品づくりにつなげています。

ハンブアクセサリー…ハンドメイド商品が流行しているため、インターネットでの販売（minne）を開始しました。今のところ売り上げにはつながらず、商品の選定や価格の見直しなどの工夫が必要です。夏場に売り上げが偏ってしまうため、冬季商品としてタッセルピアスを製作し、年度内の販売を検討しています。

手芸…今年初めての取り組みとして、豊中市ふるさと納税の返礼品であるブックカバー270個の作成に携わりました。市役所、武庫川女子大学、他事業所と連携して作製しています。加えて、新商品としてリボンヘアゴムの販売を開始しました。布ぞうりは、昨年度の課題であった在庫不足がないよう、作業人数を増員し改善されました。来年度は、手芸班として現状の在庫を継続して確保するとともに、クオリティの維持・向上を図っていきます。

紙すき…リピーターのお客を増やすため、夏と冬に12種類のラインナップを季節感のあるものに変更しました。夏季・冬季物品、豊中市役所の斡旋販売ではたくさんのポチ袋の注文がありました。来年度は新商品を手掛けていきます。

まとめ…待兼山町にある雑貨店で 11 月から委託販売を開始しました。定期的に店舗の商品の入れ替えをおこない、イベントの際にも出品していただきました。自主製品全体として、PDCAサイクルを継続しておこない、新たな受注先の開拓や商品力の向上などについて話し合ってきました。その結果、工賃は昨年度と比べ、平均して 19%ほど上昇しました。しかし、班によっては複数の営業が重なった際に、商品を用意できていないことがありました。

新たな取り組みとして、在庫管理や各販売先での出荷数・売り上げなどのデータ化を利用者と共に進めています。次年度は上記のデータを用いて、より計画的な生産・販売につなげるよう努めていきます。下請け作業…前年度から取引していただいている 7 社から受注をいただきました。取引を継続できたことで安定した作業量を確保でき、作業工程や注意点の把握もスムーズにおこなうことができました。

昨年度からの課題であった各階での職員間の連携不足については、下請け作業担当者を 1 名増員することで、工程や納期を細やかに伝達することができました。職員間の連携を強化することでミスが減り、業者様との信頼関係を築き上げることへ結びつくと考えられます。

利用者の高齢化や難病の進行は今後も懸念され、今まで取り組んでいた作業に集中することができない方も見受けられています。一人ひとりの障害に即した作業提供をおこない、社会参加の実感となるよう励んでいきたいと思えます。

## <実践記録>

介助方法の統一や職員間の情報共有を意識して取り組んだ為、前年度に比べ転倒事故や車両事故が減少傾向にあります。利用者の人数も増え、他の業務にも追われるなかで、個別支援計画やサービス実施記録など、記録の整備を効率よくおこない、円滑に遂行できるような体制づくりを引き続き行います。

加齢に伴う癌や認知症の併発、障害の重度化などが見受けられ、支援の見直しが必要でした。現在ボランティアとして、作業療法士の先生に定期的に来ていただいております。作業で工夫できることや生活での困りごとなど、多方面でアドバイスをいただいております。個々の支援が複雑化していることもあり、そのような専門性の高い知識や観察力、他機関との連携など多くのことが求められています。

## <職員集団>

事故や虐待などの問題が発生した際、多くの場合後付けで都合のよい理由を考え、事実と向き合わず、当たり障りのない理由付けをして解決としてしまう傾向があると言われてはいますが、事実と向き合い冷静な判断なしでは、利用者を守ることは決してつながりません。

支援の中で、できていない事の理由を考えるのではなく、その事を達成するための方法をチームとして考え実行し、その結果を分析したうえで見直しを繰り返していく事が必要です。

昨年度の大きな課題であった利用者を「みる」という視点や考え方について、改善した点と未だ課題となっている点があります。

一つは、それぞれが家庭訪問や担当者会議など積極的におこない、ご本人の生活状況から問題を発見し、支援方法を関係機関と協力し具体的な支援へと結びつけることができました。一方で、以前から問題視されている事に指摘や気づきがあっても何のアプローチもせず、支援が停滞している状況もみられました。これは担当職員の問題だけではなく、利用者の生活をチームとして守るという姿勢が不足していた結果だといえます。

来年度は、集団編成のため職員配置を変更し、集団の見直しをおこないたいと考えています。加えて昨年度から始まった人事考課の中で、それぞれの目標確認と振り返りをおこない、目標達成のために必要なステップや課題を具体化し、個々の能力の向上にむけて取り組みます。

平成28年度 第2工房「羅針盤」利用状況

生活介護	生介I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者
	定員	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18		
	区分2													0	0.000
	区分3	16	17	23	20	20	18	20	18	18	19	20	18	227	0.934
	区分4	57	52	66	59	64	55	53	54	51	51	49	51	662	2.724
	区分5	190	178	218	203	218	206	207	213	198	179	192	212	2,414	9.934
	区分6	97	87	92	109	107	89	92	101	102	87	92	113	1,168	4.807
	合計	360	334	399	391	409	368	372	386	369	336	353	394	4,471	18.399
	区分5・6(%)	79.7	79.3	77.7	79.8	79.5	80.2	80.4	81.3	81.3	79.2	80.5	82.5	0.0	
	利用率(%)	100.0	97.7	100.8	108.6	103.3	102.2	103.3	107.2	107.9	98.2	98.1	99.5		

就継B型	就B I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者
	定員	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18		
	未判定	149	129	157	176	193	178	179	161	167	151	171	207	2,018	8.305
	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
	区分2	42	49	49	37	45	43	47	38	37	34	42	44	507	2.086
	区分3	99	90	76	70	82	75	62	76	70	49	47	50	846	3.481
	区分4	62	51	90	79	87	78	81	80	79	67	68	89	911	3.749
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	352	319	372	362	407	374	369	355	353	301	328	390	4,282	17.621
利用率(%)	97.8	93.3	93.9	100.6	102.8	103.9	102.5	98.6	103.2	88.0	91.1	98.5			

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日	20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	20	22	243



2016(平成28)年度 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス(生活介護・定員12名)

実施施設

名称

クレヨン

所在地

〒561-0832 豊中市庄内西町2丁目3-5

実施期間 2016(平成28)年度4月1日～2017(平成29)年3月31日 計 241 日

従業者		管理者	サービス管理責任者	生活支援員	就労支援員	看護職員	嘱託栄養士	調理員	事務職員	運転手	機能訓練・マッサー・ジ	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託 税理士	合計(常勤 換算人数)		
	正規	1	1	3													4	
	非正規					1						1						
	ボランティア等 (内障害者雇用)																	
	計	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0		4	
利用者		身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	区分なし	計	
						身・知	知・精	精・身										
	男		6	1	7	1	1				4	4						8
	女		3	1	4								2	1				3
	計		9	1	11	1	1				4	4	2	1				11
授産活動	授産内容		利用者数(人)	職員数(人)	収入額(円)	利用者1人当たり平均工賃/月(円)	受注開始年月日											
	内職事業		11	3	129,736	2,500	2016年1月											
	リサイクル事業				117,916		2016年1月											
	その他事業				97,850		2016年1月											
計				345,502														
その他イベント等活動		音楽教室(月1回)、誕生日会&調理実習(2ヶ月に1回)、遠足(ニフレル)、クリスマス会 年末お楽しみ会、庄内バル、庄内南まつり、青空市(庄内神社)																
健康診断実施		7月(健康診断)/11月(インフルエンザ予防接種)																
防火・防災訓練		8月(2回実施)・9月・1月・3月(3回実施)																
研修		豊中きらら福祉会 全体職員研修・新人職員研修、全国大会(きょうされん・全障研) 人権研修、平和学習、憲法学習会、福祉・医療に関する研修、防災研修 感染症・食中毒に関する研修、虐待防止・権利擁護研修、メンタルヘルス研修 個人情報保護研修、その他各種研修																
地域貢献活動		地域福祉ネットワーク会議(豊中社協)、防災フェスタ、AEDの設置および公表 こども110番、消防防災協力事業所の登録および公表 豊中支援学校 日中活動事業所 相談・情報交換会 支援学校などからの実習受け入れおよび見学																

## 《生活》

昨年 1 月の合併に伴った環境の変化や、利用者が増えて新しい集団となったなど、変化の多い一年となりました。調子を崩す方や休みが続く方もいましたので、家族と連携をしながらサポートしてきました。利用者が増えたことにより、利用者間でのコミュニケーションが増え、休み時間にも楽しむ姿が増えています。また、職員も入りながらの利用者同士での話を通して、お互いのことを知る機会も増えてきています。所内の作業以外でも利用者同士の会話や気遣いも増えており、普段関わりの少ない方とも話せる大切な時間となっています。

移転拡張する際は、環境の変化に弱い利用者などの負担の軽減が課題となります。利用者・職員間で十分に話し合いを行い、みんなが過ごしやすい環境、安心かつ安全に過ごせる場を作っていきます。

## 《健康管理》

食中毒・ノロウイルス・インフルエンザなどの感染症を予防するため、職員への意識づけ（感染症に関する学習など）や、作業室・洗面所・キッチンに掲示物を掲示しました。掲示物を見て感染予防を意識し合ったこともあってか、誰一人として感染することはありませんでした。

## 《労働》

作業環境や工程を利用者目線で考え直すことで、苦手だったことや新しいことができるようになり、それによって自信に繋がったり、利用者同士の声かけや協力し合うことが増えてたりしました。廃品・アルミ缶回収や地域にピラを配布（お店に掲示してもらうなど）等では、地域の方・お店・ご家族の協力で回収先を増やすことができました。自主製品については、開発するまでには至っていません。

## 《実践記録》

各報告書については、回覧に加えて職員会議で時間をかけて検討や分析を行い情報共有してきました。職員の配慮・意識・確認不足によるひやりハットが多くを占めていましたので、確認の仕方や声かけの徹底を図ってきました。日頃からの気づきを大事にし、たくさんの気づきやひやりを共有することができ、大きな事故はありませんでした。ロールプレイを取り入れるなどして、幅広い視点と予見する力をつけていけるようにしていきます。

研修については、今年度できるだけ多くの研修などに参加してきました。職員会議での報告・説明やミニ学習会などを通して、一人ひとりに考えてもらうことを続けてきました。

## 《職員集団》

今年度は正職の入れ替わりが多く、集団作りや人材育成の難しさを痛感した一年となりました。新しい職員に重要なことなどを伝えていく中で、伝える側も工夫をしていかなければならないことを感じた一年でもありました。経験年数が浅い職員集団ではありましたが、職員会議の場で意思統一を図るとともに、集団で実践を行っていることを大事にしながら議論して、より良い実践につなげてきました。

週 1 回の職員会議とは別に、1 月から朝礼と終礼を取り入れました。報・連・相の強化や伝える力をつけるとともに、他の職員の気づきを共有する時間にもなっています。

また、職員集団の大事さも一人ひとりに感じてもらうことができました。職員会議で時間がある時には、読み合わせをしながら意見などを出してもらって、考えていることを言語化することを続けてきました。一人ひとりが専門職であるという意識を持って、多角的に物事を考える力をつけながらも、柔軟な対応ができるようにしていかなければなりません。

平成 28年度 クレヨン利用状況

生活介護	生介 I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者	
	定員	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12		
	区分2	19	18	20	18	19	15	17	15	15	14	8	10	188	0.780	
	区分3	20	19	22	19	20	12	20	19	17	19	17	32	236	0.979	
	区分4	72	68	70	63	73	68	68	70	65	64	68	72	821	3.407	
	区分5	38	20	32	20	20	41	48	51	67	65	67	68	537	2.228	
	区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000	
	合計	149	125	144	120	132	136	153	155	164	162	160	182	1,782	7.394	
	区分5・6(%)	25.5	16.0	22.2	16.7	15.2	30.1	31.4	32.9	40.9	40.1	41.9	37.4	30.1		
	利用率(%)	62.1	54.8	54.5	50.0	55.0	56.7	63.8	64.6	71.9	71.1	66.7	68.9	61.6		

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日	20	19	22	20	20	20	20	20	19	19	20	22	241

## 障害者生活支援ステーション・ソレイユ

### 1. 今年度の特徴

現在の利用者 16 名の内訳は、法人内 8 名、法人外 7 名の計 15 名で昨年度より変化ありません。一方、ヘルパーは男性 1 名を増員し、男性 6 名、女性 5 名の計 11 名で支援を行ってきました。従来からヘルパー業務に携わってきた職員をサービス提供責任者に配置し、事務的な業務を分担しました。

### 2. 移動支援

16 名中、14 名の利用者の支援を行っています。月の平均利用時間は 298 時間と昨年度と特に変化はありませんでした。主な支援内容は余暇活動です。

屋外支援のため、移動中の事故には細心の注意が求められ、常に緊張感を強いられると同時に天候による影響も受けやすい業務です。夏場は熱中症対策に加え、台風やゲリラ豪雨の際の支援の判断、そして冬場は降雪による安全性などがあります。1 月には降雪により、防寒対策や転倒の危険性を考慮し一部移動を早めに切り上げるといった事態が発生しました。また、夜間の移動支援も月 20 時間となり、利用者の高齢化に伴うと同時にヘルパーの判断が求められることが多くなり、利用者、家族の意見を伺いながら新たな支援基準をつくる必要があります。

### 3. 居宅介護

現在 2 名の利用者支援を行っています。月の平均支援時間は、身体介護が 40 時間、家事援助が 24 時間、身体介護を伴う通院介助が 3 時間です。居宅介護のうち、夜間支援は 32 時間です。

特に今年度は、豊中市より支援時間の適正化により、長時間の居宅介護の見直しが示唆されました。それに伴い事業所ごとの聞き取りが行われましたが、現在のところ特に影響はありません。しかし、適正化の名のもと、必要な支援が不当に削減されることがないように、豊中市居宅介護事業所等連絡会とも連携をしながら今後とも注視していきたいと考えております。

### 4. 同行援護

利用者 1 名に対しヘルパー 1 名で支援しています。月の平均支援時間は 40 時間です。現在、従事資格があるヘルパーが 1 名しかおらず、家庭の事情で勤務できないことがあり、安定的な支援を提供できる状況ではありませんでした。ヘルパーに対する資格取得の支援もおこなっていく必要があります。

### 5. 重度訪問介護

利用者 1 名に対しヘルパー 3 名で支援しています。2 人支援のため、月の平均支援時間は 438 時間。内、夜間支援は 180 時間。

昨年度から引き続き懸案となっている自宅と近隣住民とのトラブルにより、支援のうち、400 時間は移動支援に充てられています。豊中市の重度訪問介護の基準を上回る支給決定を受けていますが、市の移動支援の基準は 80 時間しか認められていないため、今後も家庭環境の状況を考慮した支給決定がなされるよう豊中市に求めています。市社協、相談支援事業所と連携しながら、10 月から月 2 日ではありますが短期入所利用により、レスパイト支援を実現することができましたが、近隣住民との関係性は改善されていないため、引き続き、今後の住まいの場を検討していかなければなりません。

## グループホーム

らしんばんの家（定員 7 名）※今年度は利用者の入退去はありません

### <利用者の様子>

ホームで夕方てんかん発作があった利用者が、市民病院に救急搬送され検査等をおこないました。2 か月前にも発作があったので服薬の調整をし、その後、健康状態は安定しています。又、普段と違う様子（足元がふらつく、呂律が回らないなど）が見られた利用者があり、市民病院に救急搬送され、検査の為 3 日間入院しました。検査の結果、服薬がきちんとできていなかったことが判明し、服薬管理をホームで行う事にしました。またかかりつけ医を他市から豊中市内に移しました。

又細かい検査を受けて血管に小さな梗塞が判明し、投薬で治療する事になった利用者もいました。

上記以外にも様々なトラブルなどがありますが、様々な環境因子により身体的・精神的に調子を崩される人や突発的な行動になる人など、個別性の高い支援を要する方、又加齢に伴い機能の低下など今までできていたことができなくなる事も予想されます。今後も安全・安心に配慮をおこない、事業所や職場から帰った時に、身も心も休まる家庭的なホームづくりを目指し支援していきます。

やすらぎの家（定員 5 名）・ほほえみ（定員 2 名）※今年度は利用者の入退去はありません

### <利用者の様子>

トラブルで警察に保護された利用者は、ホームでも不安定な様子が見られたので、9 月に精神科を受診しました。検査の時にも病院職員に暴力行為があった為そのまま措置入院になりました。約 2 か月間の入院で投薬調整をしました。退院後は日中作業所に通うことになりました。

以前から偏食の利用者が、ホームでの食事を食べずに自分で好きなものを買ってきて食べる事がしばしばあり、その都度声掛けをおこなってきましたが、1 月末には体調を崩し肺炎で入院してしまいました。利用者 3 名、職員 1 名がインフルエンザに感染しました。初めに感染した利用者には、可能な限り居室で過ごしていただきましたが、トイレなど共有スペースの使用により完全隔離は難しい状況でした。今後は早い目の予防接種等を含めた感染予防が課題になります。

### <職員体制>

スタッフ会議では、マニュアルや利用者の様子、支援方法の確認、また2ヶ所合同で食中毒に関する研修など内容は多岐にわたりました。両ホームとも職員体制が不安定で、体調不良等で欠員が出たときは作業所の職員が勤務に入りました。365日の開所で、その上利用者の体調不良で休日に救急で病院に行くことが3回ありました。直接支援職員は全員非常勤で、これらのすべてを対応するのは困難であり、また作業所の職員がホームに入ると日中活動に支障が出る事になりますが、今の報酬体系ではホーム1ヶ所に1人の常勤職員の配置は難しく、利用者の通院や職員の欠員時などは作業所の職員に頼らざるを得ないのが現状です。利用者の高齢化に加え、頼れる家族がない方も多く「看取り」も含めた支援が今後必要と考えられます。常勤職員の配置は引き続きの課題です。

### <一体的な運営体制づくり>

今後、ニーズが高まってくるグループホームの一体的な管理・運営をしていくため、平成 26 年度からホーム担当職員を常勤で配置しました。個別支援計画の作成、小口現金の管理、各作業所・事業所及び家族への連絡調整、関係機関(居宅支援事業所、相談支援事業所、医療機関など)との会議の出席、備品の管理、施設の修繕、食事の発注、利用料の請求、毎月の勤務シフトの調整、職員の確保(求人)、国保連の請求など業務は多岐にわたります。また職員の急な欠勤の時は支援にも入りました。また、これらの業務と並行して、新たに2つのホームの立ち上げに向けた準備も進めてきました。常勤職員1名では、すべての業務を遂行する事は非常に厳しいです。来年度はホームの立ち上げに向けた動きが急ピッチで進むことが予想されます。来年度は常勤職員を増員して、今のホームの安定した運営体制を築き、新しいホームづくりにつなげていきます。

平成28年度 やすらぎの家 利用状況

平均利用者数 6.79人

平成28年

平成29年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
入居者数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
区分2	0	0	0										0
区分3	0	0	0										0
区分5	180	186	180	186	186	170	157	156	186	186	154	186	2,113
区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延べ利用数	210	217	210	217	217	200	188	186	217	217	182	217	2,478
利用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	95.2	86.6	88.6	100.0	100.0	92.9	100.0	96.9
開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

平成28年度 らしんばんの家 利用状況

平均利用者数 6.91人

平成28年

平成29年

生介 I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
区分2													0
区分3	30	31											61
区分4	30	23	59	62	62	58	62	60	62	62	56	62	658
区分5	58	58	60	62	56	60	62	60	58	59	55	62	710
区分6	88	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	93	1,093
合計	206	205	209	217	211	208	217	210	213	214	195	217	2,522
区分5・6(%)	70.9	73.7	71.8	71.4	70.6	72.1	71.4	71.4	70.9	71.0	71.3	71.4	71.5
利用率(%)	98.1	94.5	99.5	100.0	97.2	99.0	100.0	100.0	98.2	98.6	99.5	100.0	98.7
開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

## 相談支援センターきらら

### 相談支援センターきららの活動報告

豊中市障害者相談支援事業委託を受け、地域の身近な相談窓口として障害児相談支援事業と障害者相談支援事業の業務を行ってきました。今年度は相談員を1名増員し、計4名体制（内1名はグループホーム担当と兼任）となりました。職員の増員に伴い、各々のケースの情報共有を図ることを目的に朝礼を実施してきました。又、1日の予定がわかるようにホワイトボードを活用し、担当職員が不在中にあった電話相談にも即時対応ができるよう心がけてきました。月1回の会議で各々の相談状況を確認し、事例検討や情勢・制度などの動向を共有し日々の活動に活かしてきました。

年齢・性別・障害の種別有無に関わらず、当事者やその家族、関係機関からの多種多様な（就学、引きこもり、年金の申請、成年後見制度の利用、生活におけるトラブルなど）相談が増えています。また豊中市の委託を受けていることで障害福祉課からの依頼も多くありました。一般相談は福祉サービスの利用につながらないケースもほとんどで、将来の不安や悩み等の傾聴中心の支援になります。

計画相談支援では、障害福祉サービスの更新月（誕生日）にサービス等利用計画を作成してきました。1月末現在、130名の計画相談を受けています。（下記参照）

相談内容によって、他の指定特定相談事業所の協力で移行することや介護保険の利用にあたり、介護支援専門員（ケアマネジャー）に引き継ぎしたのもありました。中には更新に伴う計画作成以外に、一人暮らしの方の緊急時の対応（入院、病気、怪我、精神不安等）や、グループホームの利用継続を拒否された方の短期入所の利用調整や生活全般支援を行ってきました。一人ひとり状況に応じた支援が必要になり、安心できる生活の環境を整えていくことが引き続きの課題になります。

相談員はサービスの申請、連絡調整だけでなく、当事者とその家族、関係機関からの多種多様な相談に対して、どこまでが相談員の役割なのか、割り切れていないところが現状です。

当事者を中心に進めていますが、関わる人たちが同じ方向を向いてすすめていくことに時間がかかるケースが少なくありません。

今後はどのような相談もサポートできるように相談支援専門員のスキルアップや各関係機関との連携を図り、様々な視点から利用者の理解を深め、よりよい支援の行えるチームづくりが重要な役割を担っていきたいと思います。

計画相談の利用人数について（2017年度1月末現在）

18歳以上	18歳以上	18歳未満	一般相談
法人内	法人外	豊中市内	豊中市内
70名	31名	5名	25名
法人内（他市町村）	法人外（他市町村）	他市町村	
13名	11名	0名	
83名	42名	5名	合計 130名

法人内内訳

ワークセンタ ー とよなか	工房「羅針 盤」	きらら作業 所	工房モコ	第2工房 「羅針盤」	クレヨン	合計
11名	21名	19名	13名	16名	3名	83名